

(リスクアセスメント)作業手順書 雪氷対策作業(薬液製造作業)

会社名	中日本ハイエイマンテ名古屋㈱	施工ケース	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料	
作成日	平成30年11月14日		天井クレーン		ヘルメット、革手袋、安全靴		
改訂日	令和2年12月11日						
作成者	鈴木 裕太						
必要資格等		職長教育講習、玉掛け特別教育(1t未満)、床上操作式クレーン運転			作業人員	3名	その他
					作業人員	名	

可能性	1:ほとんど起きない (5年に1回程度)	2:たまに起きる (1年に1回程度)	3:かなり起きる (6ヶ月に1回程度)
	頻度率:1	頻度率:2	頻度率:3

重大性	軽微 (不労災害)	重大 (休業災害)	極めて重大 (死亡・障害)
	危険度:1	危険度:2	危険度:3

評価	対策変更の 必要なし	対策が必要	即座に対策 が必要
	1~2	3~4	5~9

作業工程	施工ケース	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	評価		危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	対策後		参考図(別紙可)	
					可能性	重大性			可能性	重大性		
準備作業												
			・作業前ミーティング									
	共通	1	新規入場者のチェックをする。	現場、施工方法等について十分な知識を有していない。	2	2	4	新規入場教育の受講	職長	1	2	2
	共通	2	健康状態を確認する。	風邪、飲酒等により正常判断ができない。	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行う。	職長	1	1	1
	共通	3	服装の点検をする。	足を滑らせ転倒する。	2	2	4	ヘルメット着用	全員	1	2	2
	共通	4	機械の点検をする。	車両の不具合。	2	1	2	事前点検を確実に実施する。	全員	1	1	1
	共通	5	朝礼、KYミーティングを行う。	漠然と現場に入り事故を起こす。	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する。	全員	2	1	2
	共通	6	作業手順の確認をする。	各自の作業が分かっていなくて、現場で不安全行動を起こす。	3	1	3	個人の作業内容、作業手順を確認する。	全員	2	1	2
			資格証の確認	玉掛け・はい作業	3	1	3	緊急時の合図、連絡方法を確認しておくこと。	全員	2	1	2
	共通	7	車両点検、荷姿、プレートチェックをする。	積荷等が落下する。	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを自主とメンテ職員にて行う。	全員	1	2	2
				業務用プレートの不正使用。	2	1	2	プレートチェックを自主とメンテ職員にて行う。	職長	1	1	1
移動												
			・現場への移動									
	共通	1	交通ルールを守り運転する。	人身、物損事故。携帯電話使用。シートベルト。	2	3	6	nexcoの一員であることを自覚して運転する。	運転手	1	2	2
								乗車時は靴の裏の汚れや水分を十分落とす				
	共通	2	高速道路に入る前には、プレートを確認しておく。	プレート区域外使用。	2	1	2	車両点検時、荷姿チェック時に確認しておく。 (自主、メンテ職員)	全員	1	1	1
	共通	3	車両は、ハンドル切、サイドブレーキ、 輪止めを必ずする。	車両が動いて、他のものに接触する。	1	2	2	運転席には、ハンドル切、サイドブレーキ、輪止め 啓発のプレートを掲げる。(必ず行う)	運転手 全員	1	2	2
本作業												
			・薬液製造作業									
		1	水槽から溶解槽へ水を引き込み状態にする	塩を投入後、溶解槽内に塩が溜まりオーバーフローする。	1	2	2	塩の投入前に規定量の真水を溜める。	全員	1	1	1
				バルブ、パイプ等の破損。	2	2	4	ポンプ作動前に各バルブの開閉状況を確認しポンプを作動させる。	全員	1	1	1
		2	塩を溶解槽に落とす	カマを使用する際、負傷する。	1	2	2	保護具の着用	全員	1	2	2
				剤吊り上げ時、負傷する。	2	3	6	フックの確認・運転者は作業員が3m以上離れからクレーン操作を行う	全員	1	2	2
				吊上げた塩のロープが切れて落下する。	2	3	6	吊上げた塩の下には立ち入らない。	全員	1	2	2
				吊上げた塩と、倉庫の側壁に挟まれる。	2	3	6	塩の移動は、天井クレーンの軌道範囲で行う事とし無理に人力で移動はしない。	全員	1	2	2
		3	循環槽内部で循環させ液を製造する	循環槽に落下する。	1	2	2	縁から身を乗り出さない。	全員	1	2	2
		4	濃度チェック	所定の濃度に達していない。				再度所定の濃度に達するように、循環する。循環後、所定の濃度に達しない時は必要数の塩を投入する。	全員			
		5	溶液製造作業終了	ポンプの停止を忘れてオーバーフローさせる。				溶解、循環、移送作業が終了後は、ポンプの停止を行う。	全員			
								循環、移送作業終了後は、各バルブは製造状態に戻す。	全員			
				塩の付着によりグレーチング等が腐食する。				作業終了後は、塩投入口周辺の洗浄を行う	全員			
		6	使用した剤の量を記載する。	使用した剤の量の記入忘れ。								
移動・離脱												